

- 日 時 令和2年1月31日（金）午後2時から3時10分
- 場 所 湖南省役所 東庁舎 3階 大会議室
- 出席者 委員18名（欠席 3名） 事務局 4名
- 議 事 協議事項 第1号議案 湖南省コミュニティバス路線変更について  
報告事項 湖南省コミュニティバス運行実績について  
その他

事務局

お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。  
少し早いのですが、ただ今より湖南省地域公共交通会議を開催させていただきます。  
それでは、開催にあたりまして、本協議会の会長よりご挨拶を申し上げます。

会 長

こんにちは。みなさん大変ご苦労様でございます。  
今年は、大変暖かい日が続いておりまして、平均気温が2、3度例年より高いとのことでございます。世界情勢を見ますと、新型コロナウイルスが蔓延しておりまして、中国武漢市を中心に、世界中各国で広がりをみせているようでございます。日本国内におきましても大阪、奈良、三重、京都そして今日は、東京でも感染者が見つかったということで、急速な広がりを見せています。もう滋賀県に入ってきてもおかしくない状況でございます。滋賀県に入りましたら、湖南省でも対策本部を設置するということになり、ここにおられる皆様のご協力を賜ることになろうかと思っております。その節には、よろしくお願い申し上げたいと思っております。

平素は、市の行政に並々ならぬご協力を賜りましてありがとうございます。

さて、この湖南省地域公共交通会議でございますけれども、道路運送法の規定に基づき、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議、調整する場となっております。

ここ最近の交通情勢につきましては、自動運転技術の導入検証が各分野で実施されるなど、目覚ましい進歩を遂げております。また、交通事故への懸念から、高齢者の運転免許証の自主返納申請者が増加の一途をたどっているということでございまして、こうした状況の中で、地域公共交通の利便性の向上が求められています。

今年度の湖南省コミュニティバスの利用者につきましては、現在のところ、昨年度より増加しておりますが、今後は高齢者の増加に

伴う公共交通の利用が見込まれるため、高齢者にとって利用しやすい公共交通体系になるよう、取り組みを進めていかなければならないと考えております。

委員の皆様方におかれましては、この後の協議事項につきまして忌憚のないご意見をいただきまして、本市の公共交通がよりよいものとなりますようご協力を賜りますよう、お願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願い申し上げます。

事務局

それでは、早速ですが、議事に入っていきたいと思っております。

湖南省地域公共交通会議設置要綱第6条に、会長は会議を招集し、その議長となるとありますので、議事の進行につきましては会長、よろしく願いいたします。

会長

それでは、規定に基づき、次第に基づきまして進めさせていただきます。

まず、協議事項といたしまして、第1号議案「湖南省コミュニティバス路線変更について」協議をお願いしたいと考えてます。事務局から説明をお願いいたします。

事務局

それでは、事務局より説明させていただきます。

まず、第1号議案についてご説明させていただきます。1ページから3ページをご覧ください。湖南省コミュニティバス「甲西南線（美松台ルート）運行ルートの一部路線変更および廃止について、甲西南線（美松台ルート）の運行ルートを一部変更します。

現在、「東山台バス停留所」から「甲西駅南口」バス停留所へは、市道美松線を通り、市道旧東海道線との交差点を右折し、甲西駅南口へ向かう運行ルートとなっています。しかしながら、旧東海道線に出るため右折する際も3ページ資料2の写真のように、道路幅員が狭く、見通しがかなり悪い状態となっています。また、旧東海道を走行中も、対向車が来た場合、離合が難しい状況となっています。

このような状況の中、この度、「市道甲西駅美松線道路」の新設工事が令和2年4月頃完成することとなりましたので、運行の安全性確保と、周辺住民の利便性向上を図るために、供用開始後はこの新設道路を通り、甲西駅南口へ向かうルートに変更します。

また、それに伴い、一部区間、2ページ、資料1の青色部分の路線を廃止します。

なお、「東山台バス停留所」から「甲西駅南口バス停留所」までの間には、バス停留所はございません。

第1号議案についての説明は以上です。

会 長

はい、ありがとうございます。ただいま事務局から第1号議案の説明がございました。内容についてご質問、それからご意見等がございましたらお願いを申し上げます。

よろしいでしょうか。

では、ご意見がなければ、第1号議案については、計画案のとおり協議が整ったものとしてよろしいでしょうか。

委 員

異議なし

会 長

ありがとうございます。異議なしということでございますので、計画案のとおり了承されたものとさせていただきます。

それでは、続きまして、報告事項に移らせていただきたいと思います。まず、湖南省コミュニティバスの運行実績について事務局より説明をお願いいたします。

事務局

湖南省コミュニティバス運行実績についてご報告させていただきます。4ページから5ページ資料3-①、路線別乗客数の平成30年度と令和元年度との比較表をご覧ください。

令和元年12月までの実績が出ております。

昨年度と比較して、順調に乗客数が増加し、12月の時点で、昨年度より約1万2千人の増となっております。

どの路線というよりも、全体的に増加傾向となっており、この傾向が続くよう、引き続き利用促進に努めたいと思います。

次に6ページの資料3-②、バス利用者数の過去5年間の推移をご覧ください。

平成27年度からは、ほぼ横ばいの状態となっておりますが、先ほども申し上げたとおり、令和元年度は、少し増加の期待ができるのではと考えております。

また、その下の補助金（市負担金）の推移についてはご覧のとおり

りです。

最後に、資料にはございませんが、湖南省の平成30年度の輸送収益率（費用に対する運賃収入の割合）は、40.53%になりまして、平成29年度の43.74%には及びませんでした。まずまずの水準ではないかと考えております。

以上で、運行実績の報告を終わります。

会 長

ただいまのコミュニティバスの運行実績について事務局より説明がありましたけれども、ただいまの説明につきまして、ご質問等がございましたらお願いをいたします。

委 員

乗客数がすごく伸びているということはすばらしいと思います。それも一定路線ではなく、全体的に伸びているというのは、例えば今まで乗っておられなかった方が乗りはじめたのか、もし、わかればいいのですが、運転免許証の返納の関係なのか、市で把握されていることがあれば教えていただきたいと思います。

事務局

利用者の方が伸びた要因として考えているのは、先ほどもおっしゃったとおり、運転免許証の自主返納される方が、今年度に入りましてかなり増えておりまして、平成30年度湖南省で手続きされた方が82名だったんですけれども、今年度1月末の時点で、110名という数字になっておりまして、返納された際にバスの回数券を1冊無料でお渡ししている関係もありまして、そういった方々がご利用いただいているのではないかと考えております。

委 員

例えば、これまでは、バスの回数券の販売枚数がこうだったけれども販売枚数が増えてきたとか、そういうことがあったのでしょうか。

事務局

回数券の販売枚数の資料は、今持ち合わせておりませんので、次回は、お示ししたいと思います。

委 員

今年度の数字は、以前に戻ったぐらいだと思いますが、要因について、いただいた資料3-①を見て思ったのは、三雲小学校ルートの数字が増えていて、それがいちばん大きいのではないかと思います。これは通学されるお子さんが増えたということですね。大体1日30

人ぐらい増えていますよね。

事務局 三雲小学校ルートは、主に柑子袋地域の小学校1年生の子どもさんが利用されています。1年生の子どもさんが増えれば人数も増えることになります。

委員 ほぼ1日一往復のバスの利用者は、小学校1年生の数字ですね。そうすると、その数字を引いた上で増減を検討した方が、実質的な市民の利用者が増えたかがわかると思います。免許返納の影響もあるとは思いますが、いちばん大きいのは、三雲小学校の入学者の数になってしまうので、その数字を引いて、詳しく検討していったらどうかと思います。

事務局 ありがとうございます。参考にさせていただきます。

委員 コミュニティバスの乗車券の種類は、身障者向けの乗車券や、運転免許証を返納した方の乗車券など、何種類あって、それをどれだけ利用されたかというところがわかれば教えていただきたいと思っています。どういう傾向にあるのかを把握する上でも資料として示していただけたらと思います。

事務局 今現在の乗車券は、定期が通勤用と通学用、障がい者用、回数券が大人用と子ども用、障がい者用がありまして、利用枚数の集計はありますが、今資料を持ち合わせておりませんので、次回はそちらの資料もお示ししたいと思っています。

会長 他にご意見等ございますでしょうか。  
よろしいでしょうか。  
なければこれで議事につきましては、すべて終わりましたので、議長の任を解かせていただきます。  
それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。

事務局 会長ありがとうございました。  
それでは次に、次第の3、その他になりますが、みなさまに事務局より2つのご提案をさせていただきます。担当の方からご説明させていただきます。

それでは、2つのご提案を続けて説明させていただきます。

ただ、このご提案は、あくまで案でございます、決定事項ではございません。これからこのようなことを市で検討していきたいと考えておりますので、本日この会議の中で、どういう方向に進めたらよいか、実施するとしたらどういう点に注意したらよいかなど、皆様からご意見をお伺いし、よりよい形で事業が実施できればと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお、今後具体的に内容が決定し、事業が開始できる段階になりましたら、改めて公共交通会議でお諮りしたいと考えております。

それでは、まず7ページのコミュニティタクシーの導入について概要をご説明させていただきます。

対象路線につきましては、甲西南線妙感寺ルート、美松台ルート、医療センター線の3路線を考えております。

バス路線を見直し、コミュニティタクシーを導入することを検討しております。開始時期につきましては、資料には令和3年度と記載しておりますが、現段階では流動的な状態ですので、具体的に内容が決定しましたら、会議でお諮りしたいと考えております。運賃につきましては、コミュニティバスと同額、大人250円、定期券、回数券も利用可能とします。運行形態は、予約制の乗合となります。運行時間帯は、8時台から19時台の中で、1時間に1便と設定し、発着時間は定めません。運行ルートについては、対象エリアから共通エリアへの移動とします。区域運行のため、運行ルートは定めません。共通エリアにつきましては、甲西駅を中心としまして、人が集まることを考えていこうと思っています。その中には、公共施設や商業施設などが入ってくるかと思えます。停留所につきましては、現在のバス停留所に加えて、地域で要望があった場所にコミュニティタクシーの停留所を設置したいと考えています。運行イメージ図につきましては、下の図をご覧ください。現在のバス路線で、エリアを分けておりますが、3つのエリアを2つにした方がよいか、そういったご意見もいただければと思っております。また、対象路線については、8ページから9ページの資料4にあります平均乗車密度をもとに、4月から滋賀バス様とも協議をさせていただきました。3つの路線を上げさせていただきました。

コミュニティタクシーの導入についての説明は以上です。

続きまして、10ページのコミュニティーバス高齢者無料化についての概要を説明します。

まず、目的としましては、高齢者の介護予防、外出促進等に寄与し、また、交通事故防止のための運転免許証自主返納者を支援することを目的とします。対象者は、湖南省在住の満70歳以上の方、開始時期につきましては、令和2年10月以降ということで考えておりますが、これも流動的となりますので、決定しましたら、会議でお諮りしたいと思います。周知方法については、広報こなん、ホームページ、タウンメールによる周知、チラシを作成し、地域、老人クラブ等に配布を考えております。利用方法については、回数券15枚綴りを無料で交付します。受付の場所は、湖南省役所東庁舎、西庁舎、保健センターで、身分証明書を確認させていただいて、交付するという流れになるかと思っております。これにつきましても、期間限定や、交付する回数券の枚数を制限するといったいろいろな方法があると思っておりますので、今後その点については、検討が必要だと考えております。経費につきましては、高齢者無料化による運行収入の減額分を補助金で補填することになります。

二つのご提案の説明は以上となります。

本日みなさまのご意見をいただきまして、改善、修正等をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局

それでは、今事務局から2つのご提案をさせていただきました。それにつきまして、これから進めていくにあたり、ご意見ご質問等がございましたらよろしくお願いいたします。

委員

近隣の甲賀市のことについて、高齢者は無料だということを話には聞いています。他市の無料化の状況がわかれば教えていただきたいと思っております。

事務局

甲賀市の無料化のことが近隣であるため、こちらの方に要望が上がってきています。甲賀市は、昨年の10月から75歳以上を対象に無料にされています。地域は全域と聞いておりますが、実績など詳しいことはわかりません。湖南省にも要望が多いということがありまして、検討が必要かと思ひまして、この会議でご意見をいただきたいと思ひます。他の市で、野洲市は、100円だったと思ひます。少

しは高齢者であっても負担はされているところが多いと思います  
が、甲賀市は隣ということで、その影響が大きい状況がございます。

委員 高齢者の無料化が70歳と資料にあります。私は、来年70歳になります。私は、もうそんな高齢者なのかなということを感じました。できれば75歳以上の方がよいのではと思います。原則は75歳以上にして、障害のある方などは認めるなどはよいのですが、70歳で高齢者はちょっと早いと思います。

事務局 ありがとうございます。こちらで提案させていただいた70歳というのは、運転免許証の自主返納の対象が70歳ということがありましたので、提案させていただいたのですが、検討したいと思います。

委員 70歳で運転免許証を返納している人は何人ぐらいいるのですか。

事務局 令和元年度の実績で、70歳から75歳で返納された方は、数名おられました。現在免許証を更新する際にも検査等があるからだと思います。

委員 市議会議員の方が、デマンドタクシーの件で先進地へ視察に行かれたと聞いているが、内容は聞いておられますか。聞いておられたらここで発表していただけたらと思います。

事務局 先進地に行かれたという報告は受けておりますが、詳しい内容については、資料を持ち合わせていないのでお話しはできませんが、資料はいただいておりますので、参考にさせていただきたいと思います。地域性や人口など違いますので、湖南市独自の方法を検討することも必要かなと思います。

委員 これは、回答いただかなくていいのですが、みなさまに情報共有をしておきたいと思います。今のトレンド、全体的な滋賀県も含めて、公共交通がどういう状況にあるのか、どんな課題があるのかなどについてお話しさせていただきます。

まずこの辺は、人口構造が生き生きして若いんです。当然高齢の方も生き生きされています。これは滋賀県のすごい特徴なんです。日本でも2番目に人口が増加しています。これは、人口トレンド

からいうと、四半世紀いい意味で遅れているんです。25年前の京阪神大都市圏の周辺市町の状況になってきたと。では、今から25年から30年前のその自治体が何をしたかという、財政が豊かだったので、高齢者を無料にしてあげようということをした。今それがどうなっているかという、財政破綻寸前です。湖南市の前回の国勢調査をみると、高齢化率は20%を切っていますが、今は、推測すると20%を超えていると思います。それがあと20年経ったら34%ぐらいになります。34%となると、周辺市町では甲賀市、東近江市、米原市になるのですが、ちょっと都市圏から離れたところと一緒にいるんです。一方で、高齢化率が3割を切っている地域というのは、推計ですけれども、草津市、野洲市、守山市で、人口もどう変化するかという、この先8千人ぐらい減るんです。そんな中で70歳以上を無料にして、それを自治体の予算で賄っていく、今はいけるんですけれども、その時にご担当者になった方が気の毒な状態になっているという状況です。つまり、景気が良くて無料にしてしまって、今そんな状況になっている。それに対して、今どんなことが行われているかという、基本的に高齢者が有料になりつつあります。京都市も一定額の負担がありますし、そろそろ崩壊します。京都市も高齢者パスに対してそろそろ手を入れないといけない。横浜市もついに一人あたり100円に、大阪の方も有料化してしまっていて、ここと人口構造が似ている高槻市が、当初70歳以上全員無料にしていたんですが、計算した結果、どうも市の負担額の倍ぐらいの人が乗っているということがわかったんです。今7億市が出しているんですが、14億出さないとやっていけないと。では、残りの7億は誰が払うのかという通常の運賃を払っている人になります、という崩壊が始まりつつあるときに、私としては滋賀県はしてほしくないんです。せっかく先行してダメな事例がたくさんあるので、それを参考に滋賀県はどう生き残って、人口を維持して、さらに京阪神の大都市圏から移住していただくかが大きな使命なんです。それを踏まえたうえで、70歳以上ないしは80歳以上の方を無料にするコンセプトをどうしたらよいかを次年度しっかり考えた上で実施していただきたい。隣の町が無料だからうちもやってほしいという気持ちはわかるんです。先ほどすごくいい事をおっしゃってまして、「湖南市の地域特性に応じたことを考えなくてはならない」と、そのための地域公共交通会議なんです。自分たちの町を自分たちで変えていこうという会議なので、ぜひ来年度は、年1度の開催ではなくて、皆

さんが集まるのが大変でしたら専門部会でも結構ですので、コミュニティタクシーの導入と、高齢者の無料化についての検討をやっていただけたらと思います。

ただ、足腰の悪い人はどうされるのですかという弱者の概念があって、交通弱者と移動困難者は違うんです。バスにも乗れないぐらい足腰の悪い方は、福祉の輸送サービスで賄うべきなんです。ゴミ出しも行けるぐらい距離を歩ける方なら公共交通を利用できる方です。その方々が使っている上で、例えば「バス待ち環境は暑くてかなわない」とか、そういうお話があると、それは弱者さんです。これを一気に何もしないで無料にした場合、モラルハザードが実際に他でも起きています。無料でもらえるなら取り敢えずもらっておこうというのが人の性ですから。そうなってしまうと、コミュニティタクシーを導入した時に、無料なら電話しようということになって、財政支出が増えると大変なことになります。しかも今ご利用になっている方の実態がよくわかっていない状況なので、きちんとどういった方々が利用されていて、どんな不満があるのかを踏まえた上で、高齢の方々に長生きしていただくために、こんなインセンティブを考えましたというコンセプトでやっていった方がいいと思います。高齢者に対して色々やるのは悪いことではないんですが、やり過ぎると大変なことになっているということを聞いているので、できれば予算を取っていただいて、利用者のアンケートを取られた方がいいと思います。たぶん利用していない人のご意見は、「運賃が高い」、「本数が少ない」、「もっと便利にしてほしい。」という意見なんですが、実は250円というのは、すごく安いんです。しかも回数券15枚綴りだと1回あたり200円で、京都の市バスですと230円です。市バスより安いお値段で乗れる地域なんです。要は乗らない方が250円が高いと思っているだけです。

モビリティマネージメントとって、今みたいな事を子どもたちにずっと話していくということをやっていたら変わっていくんです。そういうことと並行しながら、湖南市にとってよりよい交通とは何かを次年度検討できたらということを経営共有したいと思っています。以上です。

委員

タクシー協会として、2点申し上げます。

コミュニティタクシーの導入の件ですが、私どものタクシー協会の会員と非会員という協会に入っておられない事業者がおられて、

この地域は、5つの事業者のうち2社しか協会に入っていないため、われわれはなかなかタッチしづらいというのがあります。協力はさせていただきますが、その辺をご配慮いただきたいと思います。それから2点目は、明日2月1日からタクシーの運賃が変わります。従来530円のが500円になります。ただ、距離が短くなりますので、近い方は、500円で乗ることができ安くてすみますが、遠距離になると値上がりしていきますので、その違いがありますので、お知らせしておきます。以上です。

委員

昨夜、都市計画マスタープラン案の説明が都市政策課からありました。20年先をみたプランなんですが、コミュニティバスもマスタープランから方向性を掴んでいくのが妥当かなと感じました。市ではいろいろな専門分野がありますが、このプランは、先をしっかりと見据えて中間見直しもされますので、大きなものを見据えて、大きな失敗はないのではないかと私は思います。

委員

私は、公共交通行政をやらせてもらっていますので、その観点から、道路はだれのものという優先順位をつけて、道路は車のためのものではなくあくまで人のもの、次に自転車、救急車や消防車、自家用車は最後です。人が移動する術を持ってもらうために、公共交通が必要、公共交通が便利になると、人々が車に頼らずにバス、電車で移動できるのであれば急いで行かなくてもよいと言っているんですが、なかなかうまくいかないという状況です。われわれ公共交通行政に携わるものとしては、いかに公共交通を便利にするかを心がけています。

1点質問があります。湖南省で検討されているコミュニティタクシー導入の件ですが、今回甲西南線と医療センター線を検討されているということですが、これは既存のコミュニティバス路線を廃止されて入れ替えるのか、それともバス路線を残しながら利便性を高めるためにされるのか、どちらの考えですか。

事務局

今のご質問なんですが、利用者の少ない路線を考えていますので、タクシー運行の定員4名でほぼ対応できる路線ということで、この3路線については、バス路線の廃止ということで検討を進めたいと思います。

委員 数字だけをみると、結構乗っているように思いますが、そうではないのですね。

事務局 はい。

委員 使用者の立場で言わせていただきますが、まずコミュニティタクシーの導入については、私は反対ではないのですが、日常的に利用されている方の声を聞いてほしいというのと、定期的に利用されている方がおられると思いますので、その方は、いちいち予約をしないといけないのか、自分だったらできないなと思うので、そのあたりの検討が必要だと思います。

それから、高齢者の無料化については、無料化を議論するまでに、市民の方に、こういうバスが走っているということを知っていただくことが最初だと思うんです。例えば、こういう会議で事務局からバスの乗車券を渡して、「1回会議にバスで来てみてください」と言ってみます。そうすると、まず時刻表をみると時刻表が見にくいんですね。会議に来る方はまだいいんですが、帰る方は、はたしてすぐに帰れるかどうか、こういう状態のバスが毎日走っていることをまず、日頃バスを使っていない人に知ってもらう、そこから改善する議論を始めないといけないなと思います。

無料化にすると、私がいちばん心配するのは日頃使っている人にしわ寄せがこないかなということです。そういうことがなかったとしても、休日の運行本数を減らされたりすると、なかなか利用が難しいと思います。しわ寄せがくる、予算が余計にかかる、それについて安易にサービス状況を悪くしないというシステムがちゃんとできて、関係者みんなが覚悟をした上で無料化ということにしないと、それができないうちは私個人としては、無料化ということに反対だという気持ちです。

理想論を言えば、便利であれば有料でも乗っていただけなんです。高齢者が全部かわいそうな状態ではないということは、出席委員の皆さんは、よく理解されていると思います。

反対ばかりしていてもだめなので、無料化までにぜひ取り組んでいただきたいことがあるのですが、まず、高齢者が安心して乗り降りできるバスばかりにしていきたい。先ほど、移動困難者と交通弱者は違うというお話を聞かせていただいて、荷物が多いとか、老人車などを利用している人が安全に乗り降りできるバスで、ワン

ステップバス、ノンステップバスなら解決するものではないんです。これらのバスは歩道からの乗り降りに対応していますが、歩道のないところが多いので、そのへんもどこかで予算を出してもらえるのなら先に対応していただきたいと思います。

それから経済的な負担を減らすということなら、乗継券は、今各駅で発行となっていますが、市役所、北山台、にごり池など、他の路線に乗り継ぐことで随分市内の移動が楽になってくるんです。これができないと路線によっては往復800円かかることもあります。まずそういうところから地道に取り組んで、市民の方に知恵を使って乗ればうまく乗れるんだなということをわかっていただきたい。

それから、毎年言っていることですが、通勤通学で利用している人を大事にしていきたい。特に若い世代の方にいい印象を持っていただくことで、コミュニティバスというのが次の時代に残っていけると思います。数年後にバスの本数が減ってしまって、不便だから利用者が減って、他の移動手段がない高齢者が無料で乗っている、市民の大半が何も使えないという状況にならないようにしていきたいと思います。

1回無料にしてしまうとやめられない、反対すると福祉に理解のない人に思われるという困った状況になっています。

最後に、障がい者団体として言わせていただきますが、障がい者手帳、療育手帳を持っている人は半額で乗車させていただいています。これを高齢者との兼ね合いをどうしていくか、障がい者の料金については、平成16年のこの会議の最初の段階で提案された方がおられて、当事者の私が何も言っていないのに、石部の方の区長さんが、「障がい者を無料に」と熱心に言ってくださった。その時の市役所の担当の方の回答が、公平性に難があるということで、その時の会議の雰囲気としても賛成する雰囲気ではなかったのですが、そのままになっているんですが、公平性ということを考えて、どうしていくべきか、私もいい答えが浮かびませんので議論していただきたいと思います。

あと、回数券を渡すという提案をいただいています。高齢者とわかるものなんでしょうか。私が心配しているのは、不正利用されないかなということです。お年寄りに悪気はないのですが、「おばあちゃんの回数券があるわ」と孫にあげて、孫が乗っていくということが容易に想像ができますし、大手の鉄道でも障がい者や子どもの切符で不正乗車していることが何割もあり、どことも悩みになっ

ているはずなんです。こういうことが、湖南省のシステムでは避けられていますので、できたらお金がかかるかもしれませんが、高齢乗車証のようなものがないのかなと思います。あるいは、無料ではなく、障がい者や子どものような回数券の割引の方がよいのかなと思います。

要は、よほど覚悟を決めていかないと、常時利用しているものは心配で、反対せざるを得ないということです。

事務局

たくさんご意見をいただき、ありがとうございます。今ご意見をいただいたことを参考に検討していきたいと思います。急がないようにいろいろと詰めていきたいと考えていますし、またみなさんのご意見をいただく場も持ちたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

他にご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、最後になりますが、みなさんのご意見を踏まえて、公共交通アドバイザーである先生に取りまとめた形でのご講評をお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

委員

今日私がいちばん心配していたのは、高齢者の無料化がどんどん進むのではないかと考えていたんですが、さすが滋賀県は違いますね。人ができています。最初に「私は70歳だけども」、「私も」というふうに。私たちが持っている高齢者とイメージが変わってきているのではないかと思います。令和の時代の高齢者は、高齢者という名前がついているが、実はわれわれが思っているより元気なんじゃないかと。では、元気な高齢者の外出がどうなっているのかを調べて、車を使っていたら、「だんだん体が弱ってしまうので、できれば公共交通を使ってもいいですね」とお茶でも飲みながらお話できる場を作った方がいいと思うんです。みんなが元気に長生きするにはどうしたらいいのかなというときに、公共交通というのもありますし、車を使われるのであれば、警察の方から「ヒヤリハット」の情報をいただいて、「今こういう所が危ないですよ」というのをみんなが共有するとか、そういうことができそうな地域だと私は感じました。

個人的に20数年前からこのバスを結構乗りにきてまして、今日も1時間以上前に甲西駅に着いて、何をしていたかということ、こにゃ

んバスを見たくて、非常に良かったのは、こにゃんバスが来たと思って写真を撮ろうとしたら、ドライバーさんが手を振ってくれたんです。すごくいい地域だと思いました。あのバスは、この地域ではすごく人気者になっていて、その習慣が付いているから、ドライバーさんが手を振ってくれたんだと思います。

他のバスも撮ったんですが、手はふってくれなかったんです。あたり前なんですけど。つまりバスのイメージを変えると、運転されている方の意識も変わるし、地域のイメージも変わるんだと思うんです。そういう取り組みをこの地域で、次年度やっていけたらいいなと思います。こんなかわいいバス、他では走っていないので、こういうことをきっかけに、車だけの生活からちょっと見直してみようかなということが出来る地域だと思うんです。

先ほど申し上げたように、人口構造がこれから変わってきます。特に、湖西、琵琶湖、草津線沿線の人口将来推計を見たときに、琵琶湖線が強いんですね。ではこの地域はどうしたら若い人たちに住み続けていただけるのか、ないしは引っ越してもらえるかを考えたときに、今日駅で見ていると、お子さんのお迎えの方が非常に多いです。お迎えの保護者の方も好き好んで来ているわけではなくて、その時間働けばお小遣いにもなるし、もしかしたら、車を使って送迎をすることで、市民にとっても湖南市の税収にとってもマイナスになるんです。高齢者向けにインセンティブやるよりも、子ども達向けに「バスがあるんだからバスで帰ったら」というライフスタイルになると、保護者の方も幸せになって、子ども達もずっと使っていたらいい、良くなったなというふうになるんです。

今日は、コミュニティバスの話を中心にやってきましたが、この地域、滋賀バスさんも野洲の方まで行っていますし、JRも含めてそういうものをセットにして、地域全体のコミバス以外の移動手段を含めて考えていけたらなと思います。次年度以降でいいんですけど、今なかなかコミュニティバスの本数を増やせませんし、値下げできない中で、どうしたら顧客満足度が上がるかなというヒントとして、バスを待つ環境を整備していくというのも1つなんです。今日も草津線から降りてくる中高校生を見ていると、駆け足で去って行くんです。時間を潰す場所さえあれば、バスに乗ってくれるのではないかと、無料Wi-Fiで充電ができる環境があれば、1時間でも2時間でも待ってくれるんじゃないかと、その方が多分予算としてもお安くできるでしょうし、そういったバスを待つ環境整備を今後考

えていきたいと思います。ノンステップバス、ワンステップバスを入れると、バリアフリーになるのではなく、その使い方をしっかり考えていく、利用されている方にとんなことを困っているかを聞いて、それに答えることで、顧客満足度が上がってくるし、最終的に湖南省に対しての愛着が高まることになるんじゃないかなと思います。

ぜひ次年度は、複数回こういう検討する場を設けていただいて、よりよいものが作れたらなと思いますし、私も協力させていただきますので今後ともよろしく願いいたします。

事務局

ありがとうございました。それでは、全体を通して何かご意見はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは本日皆様方よりいただきましたご意見、ご指導を参考にさせていただきます、よりよい公共交通体系となるよう取り組んでまいりたいと思いますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

最後に閉会のあいさつを副会長よりお願いいたします。

副会長

皆様方におかれましては、大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。コミュニティバスの乗客数が伸びているということは、非常に喜ばしいことではございますが、これから高齢化社会、あるいは免許証の自主返納等により、このままの状態に乗っていただけるといいのですが、やはり利便性を考えていくことになれば、今日も2つの提案をいただきました。コミュニティタクシーとバスの高齢者無料化、これにはやはり財政が伴うわけでございますので、後世にこの付けを残さない、持続可能なことをこの公共交通会議でしっかりと議論をいただきますように、今後ともよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。

それでは、これで湖南省地域公共交通会議を閉会させていただきます。

本日は、お忙しい中ありがとうございました。

お気をつけてお帰りください。